

資生堂

資生堂は、次世代の指導的役割を担う女性研究者を支援する「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」の第15回受賞者10名を選出した。助成期間は2022年6月～2023年5月となっている。

女性研究者サイエンスグラント
第15回受賞者を決定

2007年に設立され、成」という観

た同グラントは、化粧品 点で選出を行

関連領域にとどまらない った。同社は、

幅広い研究分野を募集対 女性活躍を積

象とし、応募には年齢制 極的に推進す

限がなく、研究を推進す る企業とし

る目的であれば幅広く使 て、日本のS

用できるといった、研究 TEM領域に

者に寄り添ったユニーク おけるジェン

な特長がある。 ダー間の格差

今回の募集では、特に が大きいとい

「人々が幸福を実感でき う問題の解決

るサステナブルな世界の に対して、女

実現を目指した研究活動 性研究者を取

支援」「将来指導的立場 り巻く環境に

を目指す女性研究者の育 幅広く目を向けながら、

ら、 しての活動費にも使用で

加費など指導者と 今後、研究助成金の

回を迎えた。 支援だけでなく、研究者

きることが特長だ。これ により、様々なライフ

メント時の女性研究者の トワーク形成等、これか

不安や迷いに対して精神 らの女性研究者の活躍に

的 なサポートにつながっ ているだけでなく、受賞 者同士のSNS運営や、

交流会開催による女性研 究者同士のネットワーク 構築支援に貢献してい

る。その結果、受賞者の 多くが猿橋賞や米沢富美

子賞の受賞、教授への昇 進をはじめ、学術領域に

てステップアップを続け ている。

2007年の設立から 第14回まで、延べ139

名の研究者の研究支援と キャリア形成に貢献し、

今回、資生堂創業150 周年の2022年に第15

回を迎えた。 今後、研究助成金の

加費など指導者と 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

回を迎えた。 今後、研究助成金の

性研究者が活躍できる社 会の実現に向け、多様な

視点で引き続き支援を行 っていく。

科学／熱電変換工学】室

温廃熱を回収するため

の高性能熱電材料の開

発▽常松友美(国立大学

法人 東北大学大学院生

命科学研究科 助教) Ⅱ

【脳科学／睡眠科学】

睡眠覚醒におけるアス

トロサイト活動の生理

的役割の解明▽西島杏

実(国立大学法人 東京

大学大学院 工学系研究

科 応用化学専攻 助教)

Ⅱ【錯体化学／高分子化

学】1分子の厚みしかな

い極薄ポリウレタンシ

ートの開発▽平井志伸

(公益財団法人 東京都

医学総合研究所 精神行

動医学分野 主任研究員)

Ⅱ【神経科学／基礎医学

／糖代謝】生理的・病態

状況下における脳内フ

ルクトース代謝機構の

解明▽山田菜未子(慶應

義塾大学 医学部 臨床遺

伝学センター 助教) Ⅱ

【臨床遺伝学】長鎖型シ

ーケンサー全ゲノム解

析の革新…未診断疾患小

児の病因解明

Ⅱ【糖代謝】生理的・病態

状況下における脳内フ

ルクトース代謝機構の

解明▽山田菜未子(慶應

義塾大学 医学部 臨床遺

伝学センター 助教) Ⅱ

【臨床遺伝学】長鎖型シ

ーケンサー全ゲノム解

析の革新…未診断疾患小

児の病因解明

Ⅱ【糖代謝】生理的・病態

状況下における脳内フ

ルクトース代謝機構の

解明▽山田菜未子(慶應

義塾大学 医学部 臨床遺



ROSE LABO
代表取締役社長

田中 綾華 氏



015年、埼玉県深谷市に1000坪の土地を借り、バラ農園を開設した。16年に食用バラの販売を開始し、加工品のジャムや紅茶など食品から参入した。その後、通常のバラと比べてビタミンAを10倍、ビタミンCを2倍含有する新品種「24」(トウェンティフォ

ー)の交配に成功する。18年に、「24」のバラから抽出したローズウォーター、ローズエキスを原料にした化粧品ブランド「ROSE LABO」を立ち上げた。

百貨店でのポップアップの展開やバラエティストアなど全国に販路を広げ、売上は順調に拡大した。だが、コロナ禍で状況は一変した。

バラ好きが高じて農家で修業
花びらの美容成分を化粧品に転用

(禁無断転載) ©R
本紙の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、堅く禁じられています。
本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。